

平成25年度第2回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会 会議概要

(1) 会議の名称	平成25年度第2回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会							
(2) 開催日時	平成26年1月28日 午後2時から3時15分まで							
(3) 開催場所	議会棟 第1委員会室							
(4) 出席又は 欠席した委員 その他会議に 出席した者の 氏名 (傍聴人を 除く) 出：出席 欠：欠席	委 員 (市職員以外)							
	欠	吉武 民樹	出	鈴木 孝	出	今井 厚子	欠	飯沼 トミ子
	出	土井 紀弘	出	小川 英郎	欠	渡邊 慎	欠	田中 純男
	欠	入野 勢津子	出	成嶋 美代子	欠	古野 民世	欠	後藤 晋作
	事務局その他市職員の出席者							
	健康福祉部							
	社会福祉課		立澤課長、山澤、斉藤、高橋					
	高齢者支援課		森主幹					
	障害福祉支援課		谷次課長補佐、菊地課長補佐、大野施設長					
	健康づくり支援課		小笠原課長補佐					
国保年金課		山田課長補佐						
子ども部								
子ども支援課		中迫次長						
子ども相談課		飯尾課長補佐、中村所長、増田主査長						
保育課		山崎課長						
(5) 議題	(1) 平成25年度 主要事業の上半期実績報告について							
(6) 公開・非公開の別	公開							
(7) 傍聴人の数 (会議を公開した場合)	傍聴人の数	なし						

(8) 会議の内容【概要】

(1) 平成25年度 主要事業の上半期実績報告について	
発言者	内 容
事務局	吉武会長が所用により欠席のため、健康福祉総合計画推進協議会設置要綱第5条第4項により、鈴木副会長に議題の進行をしていただきます。 資料に沿って、第4次健康福祉総合計画主要事業の上半期実績について、説明。 (要旨) ・後期計画の施策体系・主要事業をライフステージに沿って、各事業の25年度上半期の実績及び25年度下半期の予定の報告。 事業内容・指標・指標値等を変更した事業は、2事業。内訳は、指標・目標値を変更する事業が1事業、廃止する事業が1事業。 ・11月30日に開催した3部門の各市民研究会での主な質問・意見を報告。
土井委員	42ページ131 お休み処について 市内に何か所あり、どういう形で運営しているのですか。また、市が積極的に関与しているのでしょうか。
高齢者支援課	お休み処は市内に一カ所、湖北駅の南口にあります。 湖北台地区社会福祉協議会に委託し、空き店舗を利用する形で運営しております。 どなたでもお買い物をした後にお茶を飲んだり、荷物が重い場合は荷物をお届けしたりなどの利用ができます。
土井委員	46ページ145 高齢者配食サービスの充実について 延べ利用者が1,361名、延べ食数24,324食ということは一人20食くらいになるが、半年で20食だと少ないように感じますが、定期的に配食されているのでしょうか。
高齢者支援課	状況に応じて必要な時に配食しています。 週に5日利用している方もいれば、ご家族が食事を用意できない時のみ週に1、2回の利用の方もおられます。延べにすると20食程度ということになると思います。
小川委員	11ページ 保育施設の充実について 天王台さくら保育園の場所を教えてください。
保育課	住所は柴崎台で、天王台北近隣センターの隣接地になります。
小川委員	認知症で独居の方が患者でいますが、どの時点で認知症を患い、時点で独居になったかなどの情報がわかりません。そういう方に対してのフォローはどのようにされているのでしょうか。
高齢者支援課	高齢者なんでも相談室や市役所の高齢者支援課に相談が入った時点で、すぐに状況を確認し支援に入っています。
小川委員	相談は、家族ではない病院などからの連絡でもよいのでしょうか。
高齢者支援課	どなたでもお気づきになった方が、ご連絡いただければと思います。

発言者	内 容
成嶋委員	5 ページ 20 親子教室について どのような経緯で親子が参加しているのでしょうか。
こども発達センター	発達センターの心理専門職員が、保健センターの健康診断を行う際に相談を受け、そこで紹介しています。 まだ、成長の段階のお子さんが対象ですので、発達障害の有無がわからない部分があるため、たんぼぼ教室に参加していただき様子を見させていただいています。
成嶋委員	健診の際、市から説明等した時スムーズに相手の親は受け入れるのでしょうか。
こども発達センター	親に対する説明は、十分な配慮をしています。 たんぼぼ教室を卒業後、発達センターで訓練することもありますので、状況に応じてお話をさせていただいています。
今井委員	55 ページ 179 こころのボランティア講座について ボランティアの案内と説明に講座へ伺ったら参加者が7名しかおらずボランティアにつながった方がいませんでした。 講座の内容がボランティアをするための講座ではなく、勉強会のみになっている感じになっているので、何かボランティアをしようと思わせるような企画はないものかと思っています。障害福祉支援課で何かお考えがありますでしょうか。
障害福祉支援課	こころの健康講座は、昨年からボランティアの養成講座という意味合いから市民一般への啓発を主な目的として実施するようになりました。 講座を受けてボランティアにつながればいいのですが、なかなか難しいのが現状となっています。 ボランティアの方を増やしていく必要性は感じており、内容についてさらに精査した上で今後の実施内容を決めていきたいと思っています。
土井委員	高齢者の福祉計画の中で、小規模多機能型居宅介護を建設する計画はあるのでしょうか。
高齢者支援課	今後平成27年からの第6期介護保険事業計画を検討し策定していきますが、現在の第5期（平成24年から26年まで）では、小規模多機能型居宅介護を建設していく計画はありません。
土井委員	小規模多機能型居宅介護は、基本的に小学校区に一つというのが当初の国の方針だったと思いますが、計画になくなったのは応募事業者がいなかったためでしょうか。

発言者	内 容
高齢者支援課	<p>小規模多機能型居宅介護自体はとていいサービスと思っています。需要がどれくらいになるかを考慮し、今後の計画に乗せていくという形になるかと思いますが、100床程度の大規模な特養施設が小規模多機能型居宅介護よりも費用面でも入りやすいという市民の方の感覚があることを聞いています。</p> <p>※会議では、不十分な回答だったため説明を追加します。 小規模多機能居宅介護は、平成17年から19年にかけて（介護保険事業計画の第2期から第3期）、中学校区（6地区）7カ所に整備されています。しかし、利用者が少なく第4期及び第5期では、増設の計画はありませんでした。</p>
事務局	<p>本日いただいた意見をもとに改善すべきところは検討していきたいと思えます。</p> <p>本計画は、高齢者部門であれば介護保険事業計画、高齢者保健計画、子ども部門であれば子ども総合計画、健康部門であれば、心も体も健康プランなどの各部門の福祉計画を横断、体系化して、ライフステージごとに施策展開しています。</p> <p>平成26年度はほとんどの部門の福祉計画が計画期間の満了を迎え、このため各課で計画策定の作業が行われることとなります。それぞれの計画の見直しと同時に並行して行われるため、調整等が難しいことになることが予想されます。</p> <p>次期計画では、各事業の進行管理はそれぞれの福祉計画に委ね、重複した進行管理を解消することや、3部門の福祉市民研究会を上位機関である本協議会に統合し策定組織の効率化を図るほか、本協議会の委員についても各部門の福祉計画の委員も入っていただき組織強化することなども含めて、現在検討をしています。</p> <p>その中で、本協議会は各部門の福祉計画を統括する機能の強化を図り、皆さまから我孫子市の健康福祉に対するご意見を今まで以上にいただきたいと考えています</p> <p>今後とも、ご協力をお願いいたします。</p>